電気火災を未然に防ごう！！

皆さんのご自宅・職場にある、電源プラグをコンセントに差込んだまま使用しておりませんか？

長年放置していると火災になる危険性があります。

平成26年中、東京消防庁の統計では、電気火災は1019件発生しております。

出火に直接関係したもの別に電気火災の発生状況を見ると、配線器具等で285件発生しており、電気火災全体の3割を占めます。

表11　電気設備機器火災の出火に直接関係したもの別発生状況

出火に直接関係したもの		22年	23年	24年	25年	26年	5年平均	前年比較	5年平均比較
配線器具等	合計	294	281	341	315	285	303	▼30	▼18
	電気コード	130	97	137	103	104	114	1	▼10
	差込みプラグ	76	70	93	102	84	85	▼18	▼1
	コンセント	53	74	70	66	49	62	▼17	▼13
	テーブルタップ	20	22	25	22	25	23	3	2
	コードコネクター	11	10	10	13	15	12	2	3
	マルチタップ	4	8	6	9	8	7	▼1	1
電気ストーブ		62	77	78	76	76	74	―	2
蛍光灯		18	41	32	37	40	34	3	6
屋内線		39	37	33	46	40	39	▼6	1
電気クッキングヒーター		34	28	28	24	31	29	7	2
電子レンジ		20	19	22	28	24	23	▼4	1
冷暖房機		18	13	16	13	18	16	5	2
配線用遮断器		12	14	26	23	18	19	▼5	▼1
リチウム電池		3	4	3	7	17	7	10	10
その他		497	537	530	542	469	515	▼73	▼46

注、『電気コード』及び『差込みプラグ』は、電気設備機器の部位である『器具差込みプラグ』及び『器具電気コード』から出火した火災を含んでいます。

東京消防庁HPより　統計データ参照

そもそも何故！？「電源コード」や「コンセント」から出火するのでしょうか？

その原因を説明を致します。

その前に・・・・

皆さんの身近にこんな光景見かけた事ございますか？

①コンセント回りのほこりが凄い！！

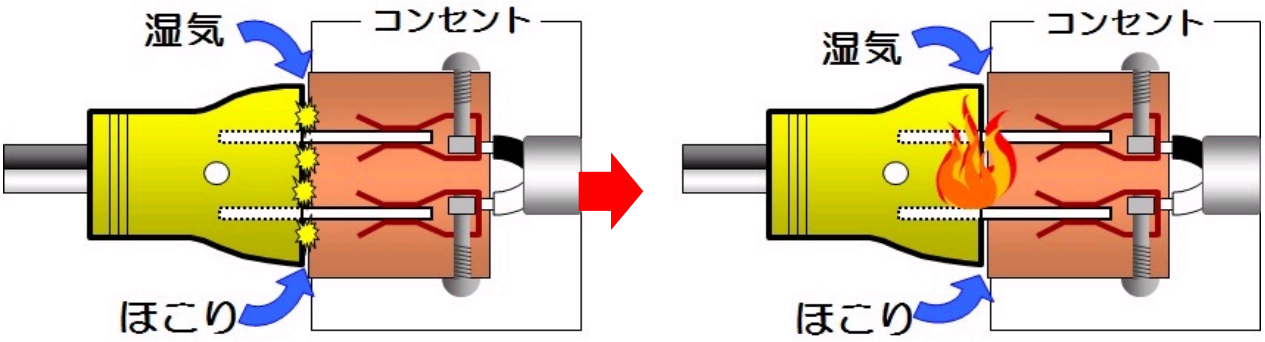
②凄いタコ足配線！！

この状態は、非常に危険です！！

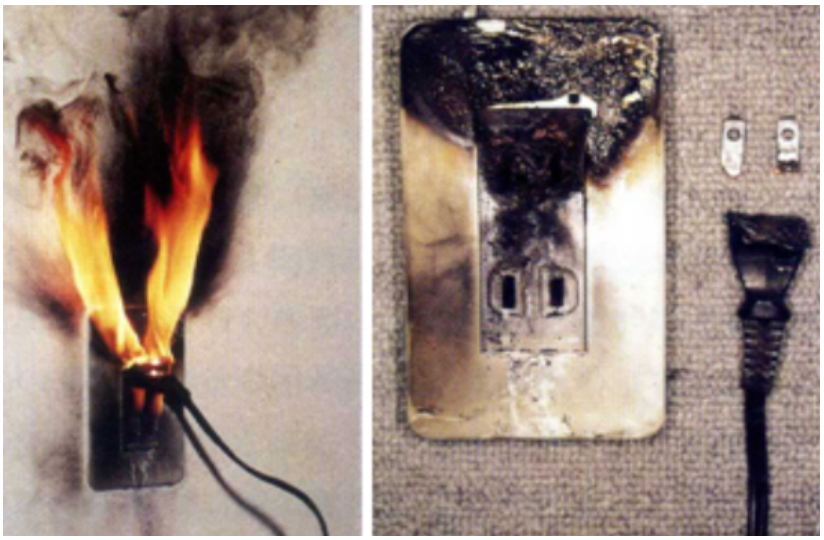
① コンセント回りのほこりが凄い！！

長年電源プラグをコンセントに差し込んだままでいると、電源プラグとコンセントの間に“ほこり”と湿気等の水分が付着します。その付着物が電気の通り道を作ります。

そして**突然**電気スパーク**が発生**出火（火災）となります。
こういった現象による火災は、目に見えない隠れた部分で発生する事から、
発見が遅れ思わぬ被害になる場合があります。
※特にこれからの季節、湿度も上がり大変危険です！！



電気スパーク　→　出火（火災）



こんな事！！になる前に

トラッキング現象による火災予防

①使用して無い電気製品の電源プラグは
　コンセントから抜きましょう！
②冷蔵庫など常時コンセントに差し込んでいる
　場合は、<u>定期的に電源プラグを抜いて拭き掃除</u>
　をして埃が溜まらない状態にしましょう！
③コンセント付近に引火しやすい物を置かない！

②凄いタコ足配線！！

過度の蛸足配線は、非常に危険です。いくつも電源プラグを差し込む事で、
コンセントに差し込んだ電源プラグが少し抜け掛った状態になり易いです。
蛸足配線すると配線自体に熱がこもり、そこから**加熱して発火する**こともあります！

蛸足配線により発熱・発煙

蛸足配線による火災跡

こんな事！！になる前に

・テーブルタップはこまめに“ほこり”をとり清掃を実施する。

・テーブルタップにも寿命があります。製品購入時に良く取扱説明書を読んで下さい。

・使用中のテーブルタップに劣化が生じた場合はすぐ交換して下さい。

・定格電流を超えない様に計算を行い、定格よりかなり余裕を持って使用する。